

## 「戸田市 DX 推進計画（案）」についてのご意見に対する回答

\*貴重なご意見ありがとうございました\*

案 件 名 戸田市 DX 推進計画（案）について  
意見募集期間 令和7年12月5日（金）から令和8年1月5日（月）まで

パブリック・コメントとしてご意見を募集した結果、1名の方から1件のご意見をいただきました。いただいたご意見の内容と、それに対する市の考え方を次のとおり公表いたします。

### 【ご意見の概要とご意見に対する市の考え方】

	ご意見の内容	市からの回答（対応）
1	<p>戸田市 DX 推進計画（案）を拝見し、以下、意見を述べさせていただきます。</p> <p>「人とまちをつなぐデジタル市役所」という基本方針のもと、市民サービスの向上と行政運営の質的転換を同時に目指されていることについて、計画全体を通じてその方向性が理解できました。</p> <p>2040 年を見据えた人口構造の変化や職員数の減少を前提に、限られた人的・財政的資源の中で行政運営を継続していくという問題意識が、計画の背景として整理されていると思います。</p> <p>また、市民アンケートや職員アンケート、全庁ヒアリングを通じて、利用者と現場の双方の課題を把握し、それを施策検討に反映しようと</p>	<p>ご意見いただきましたとおり、本計画の策定に当たっては、本市が直面している課題に対して、各種調査の実施結果等をもとに、方向性や施策の検討を進めました。</p> <p>第3次情報化推進計画で取組が不十分だった施策については、課題を整理し、その実行性等を考慮しながら、本計画に盛り込む具体的な施策を検討してまいります。</p> <p>また、ご意見いただいた、「業務全体を俯瞰した整理」や「組織横断」等の考え方については、重要な視点であると考えております。BPR の推進やデジタルツールの活用、標準化・共通化への移行をはじめとして、本市の DX 推進に係る各種事業について、個別部署での取組にとどまらず、全庁的な視点での実施に向</p>

	<p>している点は、本計画の特徴の一つであると受け止めました。</p> <p>第3次情報化推進計画の振り返りにおいては、AI・RPAやEBPMなどの取組が十分に進まなかった背景についても、次期計画に向けた課題認識が示されており、DXの方向性や考え方を整理することに主眼が置かれている一方で、今後の実行段階においては、取組の進め方や優先順位、段階的な到達イメージが補足され、各所属にとって行動に結びつきやすくなると考えます。</p> <p>特に、BPRの推進やデジタルツールの活用、標準化・共通化への移行といった取組については、個別施策として進めるだけでなく、業務全体を俯瞰した整理や、組織横断での支援が重要な領域であると思いました。</p> <p>さらに、ガバメントクラウドの活用や外部サービスの利用が進む中で、情報セキュリティについても、業務や利用環境の変化を踏まえた整理が求められると思います。</p> <p>クラウドサービスや外部ツールを利用する業務においては、従来のネットワーク分離を前提とした運用に加え、利用者や業務内容、利用環境に応じたアクセス管理の考え方を整理していくことが、現場での使いやすさと安全性の両立につながり、計画に掲げられている「情報セキュリティ対策の徹底」を、業務改革や働き方の変化とあわせて捉えることで、実際の運用にも反映し</p>	<p>けて、その手法を研究してまいります。</p> <p>また、ガバメントクラウドの活用や外部サービスの利用が進む中で、情報セキュリティの重要性はますます高っております。今後も、時代に即したセキュリティ体制の構築を進め、業務効率性と安全性の両立を図ってまいります。</p> <p>DX推進に当たって、取り組むべき施策は多岐に渡りますが、市民の視点を起点として、社会環境の変化に柔軟に対応しながら、行政の担い手である職員一人ひとりの能力や創意工夫を最大限に生かし、データやデジタル技術を活用した行政サービスの高度化と業務改革を一体的に推進してまいります。</p> <p>「人とまちをつなぐデジタル市役所」の実現に向けて、いただきましたご意見を本計画策定に当たつての参考とさせていただきます。</p>
--	---	--

	<p>やすくなるものと考えます。</p> <p>本計画が、これまでの取組と現場の声を踏まえ、戸田市の実情に即した DX の実践として具体化・深化していくことを期待し、意見として提出いたします。</p>	
--	--	--